

# 第55回東京スポーツ祭典開催中!!

## 第21回関東オープン中高生卓球大会 ～東京卓球協会～

2018年8月28日、29日と駒沢屋内球技場において、第21回関東オープン中高生卓球大会団体戦を開催しました。中学校101チーム(男子68、女子33)、高校54チーム(男子46、女子8)のエントリーでした。高校生は、私立学校の大会と重なって参加者が少なかったのですが、初参加の学校もあり、予選リーグで各ブロックのチーム数を増やしたり、女子では総当たり戦を実施し、試合数を多くしたのでとても喜ばれました。



毎回、棄権やエントリー変更が生じるのですが、今回は中学生のメンバー変更がとても多く、試合当日の朝、会場でメンバー移動を行っている顧問の先生もいらっしゃいました。曰く「夏休み終盤で生徒は長く学校に来ていないので様子がかめれない」とのこと。この時期にはすでに二学期も始まっている学校もあるので、参加者を増やすためにも、今後の日程を夏休み前半にしたいと考えています。

駒沢屋内球技場は昨年改修工事を終え、明るくきれいな体育館となりましたが、出入り口が分かりにくい印象を受けました。また、今年の夏の暑さは異常でしたが、冷水器の設置が無く、水分補給には自動販売機を利用せざるを得ない状況で、中高生大会の要項には冷水器が無い旨、記載した方が良くと思いました。

今年の3月は会場確保ができず、長い歴史のある春の大会が中断してしまい心苦しかったのですが、来年3月は延べ4日間、団体戦に加えて個人戦も開催できることになりホッとしています。(東京卓球協会 中野久美子)

## 小雨の中、500名を超える参加選手で開催 ～祭典陸上～

第55回東京スポーツ祭典陸上競技大会は、前日の悪天候の予報が当たってしまい、朝から小雨の中、9月29日(土)に開催しました。そのような悪天候で棄権を心配しましたが、参加選手は朝早くから続々と500名を超える選手が集まりました。今年度、春の春季大会、夏のナイター陸上に続く3回目の大会ですがこのスポーツ祭典陸上競技大会は、10000mと3000m障害が行われ、またフィールド種目では三段跳び、高跳び、槍投げが行われることが特徴です。槍投げの種目は開催する陸上競技会も少なく、当大会の魅力の一つでもあります。陸上競技大会は100人ほどの役員、審判員を依頼、確保することで開催することができますが、参加選手第一と考え、これからも選手から喜ばれる大会づくりを目指していきたいです。(東京 RC 佐藤正美)



## 全国スポーツ祭典への切符をめざして ～東京テニス協会～

10月8日(祝)少し肌寒くなって来た初秋の中、「第32回全国スポーツ祭典」への出場を賭けての「第55回東京スポーツ祭典テニス大会」が開催されました。この大会は例年、有明で開催していましたが2020年のオリンピックの為、代替コートの城北中央公園のコートと



なり、各地区のスポーツ祭典テニス大会より優勝、準優勝者と都連盟推薦者により、7種目の熱い戦いが行われました。結果全国大会への出場を決められた方は、男子シングルス優勝・中村裕基、男子ダブルス・土屋一人・小黑夏圭、男子壮年シングルス・村上憲生、女子シングルス・堀越智恵、女子ダブルス・笠井和子・大沢花菜子、壮年女子ダブルス・安部晶子・住田陽子、ミックダブルス・春日倫・浅野里子(敬称略)となりました。11/16からはじまる「第32回全国スポーツ祭典」へ優勝者と準優勝者の方は東京代表として出場いたします。(東京都テニス協会事務局長 磯)

## 多彩な見応えある技が炸裂!! 国際色も豊かに ～剣道大会～

秋の深まる10月21日、東京武道館に個人戦175名、団体戦3人制73チームが揃い、午後一時頃は館内200名の熱気。第2武道場ははち切れる若さと多彩な見応えのある大技、小技が連続して繰り出され、返し面、抜き面、返し胴、抜き胴が決まると大歓声が湧き上がりました。二刀流選手は全国大会出場実績のある方も入れて数名出場し、縦横の竹刀さばきで見る人たちを魅了しました。個人戦、団体戦ともに例年以上のエントリーで大会の進行上、やむなく、通常3分3本勝負のところを2分3本勝負として、それでも勝負が決しない場合は判定を導入。判定の際は1本勝ちとした。ただし、決勝戦については、時間内に決しない場合、無制限1本勝負、団体戦は引き分けありの代表者戦で、無制限1本勝負とする」との大会申し合わせ事項で実施しました。団体戦の決勝戦午後7時10分終。垂れゼッケンには高校大学名、企業名、剣友会名がついた剣道家が鍛え上げてきた技量を遺憾なく発揮していました。4, 5, 6段の実力者の激突は男女問わず心技体の迫力が漲っています。勝浦からは留学生のトルコ、チリ、ロシア、オランダからの4人が国際色ある大会へと盛り上げていました。また日本国内も新潟、徳島、長野、静岡等遠方からの参加者も増えています。



「この大会はオープン戦なので参加しやすい」「個人団体戦ともリーグ戦なので試合ができる」「みんな剣道満喫している」と好評を得ています。来年は5月27日東京武道館で開催します。腕試しでお会いしましょう。(大会実行委員長 角田範夫)



全日本剣道選手権でも活躍している山名選手

# 私たちの声で変えていこう!あるべき五輪に向かって

2020 オリンピックパラリンピックを考える都民の会は、10月13日(土)に東京自治研究集会との共催で「第8回提言討論会」をけんせつプラザ東京(新宿区)で行いました。今回は「私たちの声を変えていこう!あるべきオリンピックに向かって」と題して、3人のパネリストと参加者約80名で話し合いました。

はじめに国士舘大学の田原淳子教授がオリンピックの歴史や理念について話しました。オリンピックの価値「エクセレンス:勝利することだけでなく目標に向かって全力で取り組むこと、身体と意志と精神の健全な調和を育むこと」「リスペクト:互いに敬意を払いフェアプレー精神を育むこと」「フレンドシップ:人と人とを結び、相互理解を深め平和でより良い世界を構築すること」などユネスコとIOCの憲章からみた五輪の姿について話がありました。田原教授の話は、現在の東京五輪開催に向けてすっかり置き去りにされた事柄である、五輪とはクーベルタンが掲げた崇高な理念あっての大会であることにあらためて気づかされました。また、私たちオリパラ都民の会のような五輪をより良いものとするための運動もまさに「オリンピックムーブメント」に当てはまるとも述べられました。

続いてオリパラ都民の会の共同代表の和食昭夫氏(スポーツ連盟会長)は、今年行われた平昌五輪について、南北朝鮮、や米朝の対話への道を開き、平和的な解決に向けて進み始めるきっかけの大会であったことを指摘しました。2032年の夏季五輪では南北朝鮮の共同開催の招致で合意したことも紹介し、東京五輪も平和の祭典としてあらためて大きく掲げ、東アジアそして世界の平和に貢献する大会にしていくことが必要であると述べました。

最後にスポーツジャーナリストの大野晃氏が、2020東京五輪は、何も打ち出す柱が無いと指摘。1964年の大会には戦後からの復興、世界と仲良くしていくなど、市民の日々の生活にも五輪のことが浸透し目に見えて楽しめることが多かったと述べました。そもそも五輪本来の理念では儲けることなどできない大会なのに、商業主義が先行し、また国や自治体からの一方的な上意下達で多くの矛盾やゆがみが生じ、都民や国民は完全に白けた状態となっている。この状態を好転させるのはオリパラ都民の会等、市民の力で、運動で盛り上げていってみたいはどうか?との提起がありました。また戦争放棄、平和をうたった日本国憲法第9条やスポーツ権が明記されたスポーツ基本法が五輪の理念に合致しており、この2つを運動の中心に据え五輪を開催していこうと呼び掛けました。



## オリパラ都民の会と東京都が面談

2020 オリパラ都民の会は10月23日に東京都オリパラ準備局と面談しました。事前に小池都知事あてに出した要請書に対する回答の場としての面談で、都側の関係する担当課長ら10名とオリパラ都民の会からも9名が参加しました。要請書には暑さ対策や大会関連費用の明示、選手村所有地を公示価格の10分の1で売ってしまったこと、五輪後のスポーツ施設の利用制限解除の日程等について回答を求めています。暑さ対策では日程変更は「国際的な影響で不可」との回答で、今夏、街路樹を増やしたり遮熱舗装等の実証実験で検証中」との回答でした。大会経緯等についても順次V3、V4と開示していくとの回答でした。五輪後のスポーツ施設開放については、大会組織委員会と日程調整が必要で、先方から情報が出次第公開していくとの回答でした。都側は「様々な課題は承知している。都民から支持される大会となるよう取り組んでいきたい」と述べました。



# 東京都連盟スポーツカレンダー 2018年12月～2019年3月

## ランニング

- ・月例多摩川ロードレース  
12/9(日) 国立市菅河川敷グラウンド横
- ・月例赤羽マラソン  
12/23(日) 荒川河川敷
- ・第17回 検見川クロスカントリー大会  
12/23(日) 千葉・検見川総合運動場

## 水泳

- ・第15回 東京水泳フェスティバル  
2/11(祝) 武蔵野の森総合スポーツプラザ
- ・第19回 中長距離水泳大会  
3/10(日) 千葉国際総合水泳場

## 卓球

- ・合同練習会  
12/19(水) 中野区産業振興センター
- ・新春プログレスリーグ卓球大会  
1/18(金) 東京武道館
- ・2018年度技術講習会  
1/27(日) 浦和美園コミュニティーセンター
- ・後期プログレスリーグ卓球大会  
2/23(水) 東京武道館
- ・早春プログレスリーグ卓球大会  
3/6(水) 東京武道館

## ■練馬区

- ・新春3ダブルス卓球大会  
1/6(日) 練馬区光が丘体育館

## ■中野区

- ・クラブ交流大会  
1/5(土) 中野体育館

## ■板橋区

- ・レディースベアマッチ大会  
2/23(土) 中野体育館

## ■杉並区

- ・Merry Christmas シングルス卓球大会  
12/23(土) 大宮前体育館

## ■新宿区

- ・新宿Pリーグ  
3/24(日) 新宿コズミックセンター

## ■世田谷区

- ・第75回 世田谷オープン卓球大会  
1/26(土) 世田谷総合運動場体育館

## ■多摩

- ・多摩アクティブ団体戦  
12/5(水) 柴崎市民体育館

## ■町田

- ・町田交流ダブルス大会  
3/3(日) 町田総合体育館サブ

## テニス

- ・小金井オープン団体戦  
12/9(日) 小金井公園テニスコート
- ・新春テニス大会  
1/27(日) 篠崎公園
- ・新春テニス大会団体戦  
2/17(日) 駒沢公園
- ・箱崎スプリングテニス大会  
3/10(日) 篠崎公園

## ■北区

- ・第56回 秋季大会 シングルス  
12/9(日) 桐ヶ丘体育館コート

## ■練馬区

- ・第10回 女子・男子クラブ団体戦  
1/27(日) 2/3(日) 土支田コート

## バドミントン

## ■杉並区

- ・第45回 杉並スポーツ祭典バドミントン大会  
12/9(日) 杉並区立妙正寺体育館

## ■練馬区

- ・第12回 冬季バドミントン大会  
1/13(日) 光が丘体育館
- ・第14回 バドミントン初心者教室  
2/11(月) 練馬区総合体育館

## ■北区

- ・第56回 北区スポーツ祭典バドミントン大会  
12/22(土) 北区赤羽体育館

## ■荒川区

- ・第7回 在日外国人交流バドミントン大会  
12/1(土) 荒川スポーツセンター小体育室
- ・荒川スポーツ祭典年末混合ダブルス大会  
12/30(日) 荒川スポーツセンター
- ・荒川スポーツ祭典新春ダブルス大会  
1/6(日) 荒川スポーツセンター

## ウォーキング

- ・旧東海道つまみ食い 幕末の重大事件  
生麦事件の現場を確認しよう  
12/8(土) 京急線・新子安駅 9:45 集合
- ・滄浪泉園緑地から野川公園  
12/16(日) JR 武蔵小金井駅 9:45 集合

## スキー

- ・2018 テクニカルフェスタ  
12/14(金)～16(日) 志賀高原
- ・越年スキー・スノーボード  
12/30(日)～1/2(水) キューピッドパレイ

## スポーツ愛好者の交流サロン

11/15(木) 19時 東京都連盟事務所  
ざっくばらんにお酒を飲みながら種  
目の枠を超えて交流します。  
ぜひお気軽にご参加ください。

## ～ 編集後記 ～

オリンピックの意義は目標に向かって全力で取り組むこと、身体と精神の健全な調和を育むこと、互いに尊重しフェアプレー精神を育むこと、対戦相手や仲間との交流、相互理解を深め平和な社会を構築に寄与すること。参加選手が国家、国民のために頑張るわけでも、CMのキャラクターになることでもない。ましてや経済効果なんて考えていること自体が全く五輪精神と相いれない。昨今の日本で行われている商業主義先行のハロウィンのように一部の人たちでのお祭り騒ぎになりかねない東京五輪。先日行われたオリパラ都民の会のシンポジウムでの講演では、すっかり忘れていた五輪大会の本来の姿を感じることができた。2020東京の課題はまだ山積だが、五輪の崇高な理念に向かって軌道修正は可能だ。(宮内泰明)